

昭和63年7月20日~21日

県北西部豪雨災害（速報版）



発刊のことば

昭和63年7月20日から21日にかけて、県北西部を襲った集中豪雨は6時間で246 mmという今までに例を見ない降雨量で、加計町、戸河内町を中心に大規模な土石流が発生するなどして公共土木施設に大きな被害をもたらしました。

特に道路は一般国道191号を中心に随所で通行止めとなりましたが、職員その他関係者の昼夜を問わぬ懸命な復旧作業により、数日で交通を確保することができました。引き続き道路、河川、砂防施設などの災害復旧工事を鋭意推進しており、一日も早い復旧を目指しております。

本県では過去に、昭和42年7月、昭和47年7月など相ついで大災害を受けておりますが、これらを教訓として災害のない活力と個性豊かな県土づくりに邁進してきた矢先の大災害は、我々に幾多の試練と教訓をもたらしました。

今回の災害の貴重な体験と教訓を記録に残し、今後の災害対策に生かすとともに、広く県民の方々に災害の恐ろしさについて認識を高めていただくため気象状況、被災状況などを速報版として取りまとめました。本誌が関係各位にいささかでも参考になれば幸いと存じます。

終りに、本誌の編さんに当たり貴重な資料をお寄せいただきました関係各位に対しまして厚くお礼を申し上げます。

昭和63年9月

広島県土木建築部長 福田 茲久

目 次

発刊のことは

被災地位置図 2

太田川被災状況 4

被

災

状

況

1. 写真で見る被災状況

- (1) 江河内地区 6
- (2) 上堀地区 12
- (3) 西調子地区 12
- (4) 田ノ尻地区 14
- (5) 鵜渡瀬地区 16
- (6) 木坂地区 18
- (7) 辻ノ河原地区 20
- (8) 道路の被害 22
- (9) 河川の被害(出水、被害状況) 25

2. 新聞報道

- (1) 7月21日～24日(中国新聞報道) 27
- (2) 7月22日各社朝刊 29

3. 被害状況

- (1) 人の被害 30
- (2) 住家の被害 31
- (3) 各部門の被害(市町村を含む) 31
- (4) 土木関係の被害(県下) 32
 - ア. 土木関係の被害(加計土木管内) 32
 - イ. 主な公共土木施設の被害 33
- (5) 土石流発生状況 34

4. 過去の被災

- 古文書や絵図による加計町の土石流被災 35

5. 復旧状況

- (1) 事前規制による通行規制及び解除等の状況 36
- (2) 災害による通行規制及び解除等の状況 36

被

災

要

因

1. 気象記録

- (1) 気象概況 38
- (2) 情報、注・警報の発表状況 39

2. 降雨の状況

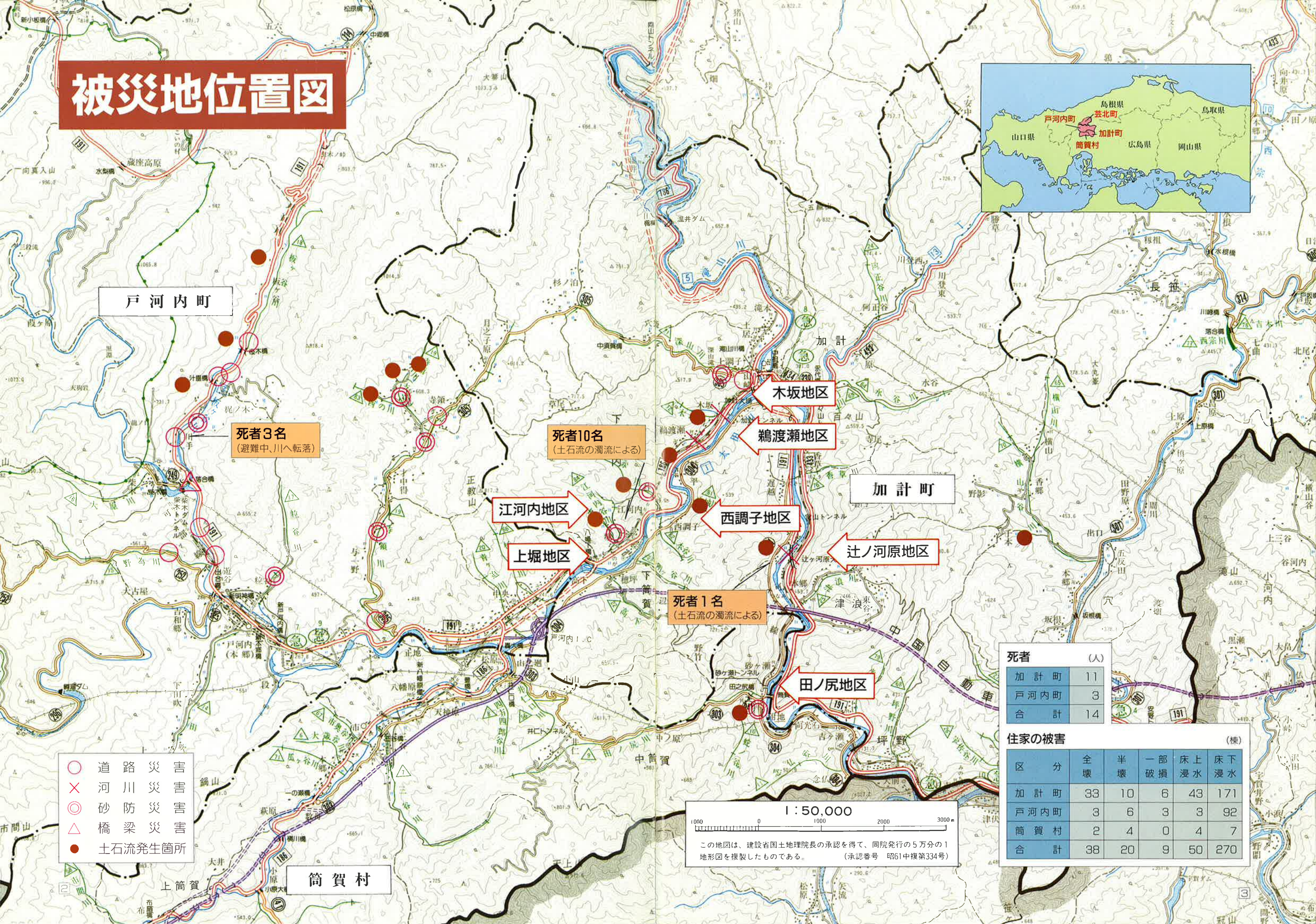
- (1) 降雨の状況 40
- (2) 降雨の特徴 40
- (3) 降雨分布図 41
- (4) 過去のおもな降雨との比較 41
- (5) 降雨の概況 42
- (6) 時間降雨量表 43
- (7) 広島県の降雨状況 44

3. 出水の状況

- (1) 出水状況 46
- (2) 太田川水系水位 46

河川情報センターの情報 48

被災地位置図



戸河内町

死者3名
(避難中、川へ転落)

死者10名
(土石流の濁流による)

木坂地区

鵜渡瀬地区

加計町

江河内地区

上堀地区

西調子地区

辻ノ河原地区

死者1名
(土石流の濁流による)

田ノ尻地区

- 道路災害
- × 河川災害
- ◎ 砂防災害
- △ 橋梁災害
- 土石流発生箇所

筒賀村

1 : 50,000
この地図は、建設省国土院院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 昭61中複第334号)

死者 (人)	
加計町	11
戸河内町	3
合計	14

住家の被害					(棟)
区 分	全 壊	半 壊	一 部 破 損	床 上 浸 水	床 下 浸 水
加 計 町	33	10	6	43	171
戸 河 内 町	3	6	3	3	92
筒 賀 村	2	4	0	4	7
合 計	38	20	9	50	270

太田川被災状況

加計町上空から見た土石流による
渓流崩壊と太田川の出水状況

(航空写真 7月21日正午撮影)

被災状況

1. 写真で見る被災状況

(1) 江河内地区(加計町江河内)

死 亡 9人
家屋流出 8戸
床上浸水 1戸

江河内谷川
上流



江河内谷川(治山ダム上流)



江河内谷川 施工中ダムの堆砂状況



江河内谷川(左支川)



被害の拡大をくい止めた60年完成江河内谷川ダム

江河内谷川上流の氾濫状況(航空写真)



中央は土砂、流木を抑止した江河内谷川ダム、左下は建設中砂防ダムと氾濫状況

江河内谷川 中流

JR殿賀駅より上流を望む



江河内集落上流の家屋



江河内集落の氾濫状況



江河内集落の氾濫状況



上堀集落と江河内集落の間の狭さく部



江河内谷川
下流

JR殿賀駅より下流を望む



(2) 上堀地区(加計町上堀)

江河内谷川氾濫

死	亡	1人
家屋	流出	8戸
床上	浸水	3戸
床下	浸水	19戸



江河内谷川氾濫



江河内谷川氾濫



(3) 西調子地区(加計町西調子)

家屋	流出	3戸
----	----	----

山城川



(4) 田ノ尻地区(筒賀村田ノ尻)

蛇の谷川



蛇の谷川



蛇の谷川下流より上流を望む



(5) 鵜渡瀬地区(加計町鵜渡瀬)

家屋全・半壊 2戸

上鵜渡瀬川上流を望む



土石流による上鵜渡瀬川下流氾濫状況



JR可部線より上流を望む



JR可部線より下流を望む



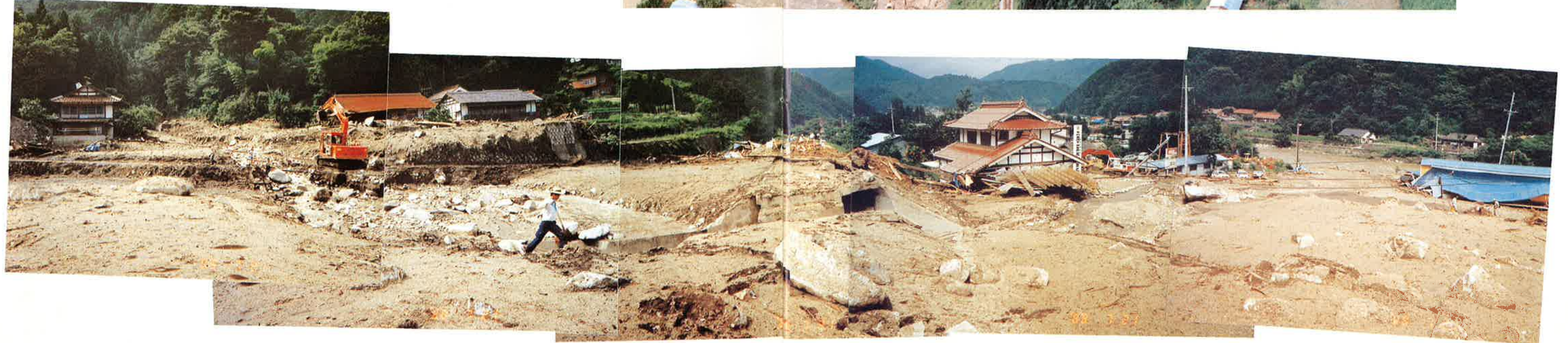
(6) 木坂地区(加計町木坂)

土石流

上木坂川



上木坂川(切断されたJR可部線)



氾濫した上木坂川



(7) 辻ノ河原地区(加計町辻ノ河町)

死 亡 1人
家屋流出 1戸

中尾谷川



氾濫した中尾谷川最上流(土石流源頭部)



中尾谷川下流より上流を望む



(8) 道路の被害

国道191号(戸河内町野為)



柴木川の増水により流失した国道

一般県道弁財天加計線(加計町)



深山川の増水により流失した県道

国道191号(戸河内町梶ノ木)



板ヶ谷川の増水により流失した国道

一般県道弁財天加計線(戸河内町寺領)



寺領川の増水により流失した県道

国道191号(戸河内町柴木)



落合橋落橋状況

一般県道弁財天加計線



深山川の増水により流失した県道

国道191号(戸河内町川手)



板ヶ谷川の増水により流失した国道

(9) 河川の被害(出水、被害状況)

太田川本川(加計町木坂)



才乙川(芸北町才乙)



護岸欠壊状況

大佐川(芸北町雲耕)



破堤した状況

板ヶ谷川(戸河内町熊野滝橋下流)

板ヶ谷川(戸河内町川手)



護岸欠壊状況



護岸欠壊状況

滝山川(芸北町奥中原樋本橋下流)



滝山川の氾濫状況

大暮川(芸北町大暮)



護岸の欠壊状況

2. 新聞報道

(1) 7月21日～24日
(中国新聞報道)

7月21日 朝刊

中国地方に再び豪雨
浜田厳戒また避難命令

中国地方に再び豪雨
浜田厳戒また避難命令
中国地方に再び豪雨
浜田厳戒また避難命令
中国地方に再び豪雨
浜田厳戒また避難命令

7月22日 朝刊



鉄砲水のツメ跡

上流から土石流と鉄砲水が流れ、一気に押し上げられた堤防。約100メートルに、このように崩壊した様子。



鉄砲水のツメ跡
上流から土石流と鉄砲水が流れ、一気に押し上げられた堤防。約100メートルに、このように崩壊した様子。

豪雨 8人死亡6人不明

広島県加計・戸河内町



土石流、14戸を直撃
道路やJR線寸断
島根町でも1人不明

29戸全半壊
84世帯が孤立

7月22日 朝刊

7月22日 朝刊



繰り返す真夏の豪雨
島根・広島に集中
気象台も解明できず
遅れた避難命令
「水出た後逃げられず」

悲しみ乗り越え復旧へ 芸北の豪雨禍



くじけてはおれぬ
懸命に土砂運び出す

一夜明け涙も新たな
親類知人ら市間



7月22日 夕刊

4遺体発見 なお2人不明 広島北西部 集中豪雨



再び雨、搜索中断
電灯・電話復旧進む

死者12人に

中国地方大雨の恐れ
梅雨前線の活動活発に



7月23日 朝刊

7月23日 朝刊



被災者
むすびで急場しのぎ
生活再建へ立ち上がる

泥の中、懸命の搜索



豪雨禍の
芸北地域

「苦しかったでしょう」
被災者 遺体に語りかけ作業

救援物資も続々

7月24日 朝刊

唯一の道は線路



道路寸断 12集落が孤立
三段峡もあちこち崩落



(2) 7月22日 各社朝刊

読売新聞



広島で豪雨 死者不明14人
JR線 山崩れ、民家直撃



毎日新聞

集中豪雨 死者8、不明6人 広島



未明、土石流襲う
加計民家倒壊、道路寸断



広島で集中豪雨
8人死亡6人不明

鉄砲水、民家を直撃
山崩れ続発、JR寸断

産経新聞

朝日新聞

局地豪雨 広島で猛威



8人死亡6人不明
濁流、砂防ダム壊す
集落直撃、道も寸断



3. 被害状況



加計町江河内谷川下流(航空写真)

(1) 人の被害

区 分		人 数	摘 要
死 者		14	加計町11、戸河内町3
負傷者	重 傷	2	加計町1、筒賀村1
	軽 傷	9	加計町9
計		25	

(2) 住家の被害

区 分	棟	世 帯	人 員	主 な 被 災 地
全 壊	38	38	100	加計町33、筒賀村外5
半 壊	20	20	44	加計町10、筒賀村外10
一部破損	15	15	38	加計町6、戸河内町外9
床上浸水	73	73	243	加計町43、戸河内町外30
床下浸水	482	491	1,493	加計町171、戸河内町外311
計	628	637	1,918	

(3) 各部門の被害(市町村を含む)

区 分	箇 所	被 害 額 (千円)	摘 要
土 木 関 係	942	12,204,500	
農 水 業 関 係	1,162	2,607,580	
林 業 関 係	395	2,439,832	
教 育 関 係	4	18,987	
開 発 関 係	2	4,000	
商 工 業 関 係	48	136,510	
衛 生 関 係	8	45,310	
都 市 計 画 関 係	—	—	
そ の 他	—	—	
計	2,561	17,456,719	



JR可部線線路より下流を望む

(4) 土木関係の被害(県下)

区 分		箇 所	被 害 額 (千円)	主 な 被 災 地
県	河 川	99	1,261,700	加計町 戸河内町
	海 岸	—	—	
	砂 防	179	6,676,000	
	道 路	87	795,100	
	橋 梁	3	68,000	
	小 計	368	8,800,800	
市 町 村	河 川	337	2,615,200	加計町 戸河内町
	海 岸	—	—	
	道 路	237	788,500	
	橋 梁	—	—	
	小 計	574	3,403,700	
合 計		942	12,204,500	

ア. 土木関係の被害(加計土木管内)

(単位：千円)

区 分		加 計 町		戸河内町		筒 賀 村		芸 北 町		豊 平 町		大 朝 町		千代田町		合 計	
		箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額
県 工 事	河 川	1	5,000	44	1,036,200	1	2,200	13	64,200	7	33,500			1	3,000	67	1,146,100
	砂 防	71	1,320,400	59	5,136,000	6	60,000									136	6,516,400
	道 路	35	336,300	39	427,400	6	13,200	1	1,200	3	10,000			2	5,000	86	793,100
	橋 梁			2	58,000	13		1	10,000							3	68,000
	合 計	107	1,661,700	144	6,659,600	13	75,400	15	75,400	10	43,500			3	8,000	292	8,523,600
市 町 村 工 事	河 川	165	1,910,000	57	443,000	2	18,000	86	200,000	20	29,000			2	2,000	332	2,602,000
	道 路	137	538,000	48	155,000	12	30,000	29	42,000	3	3,000			6	10,000	235	778,000
	橋 梁																
	合 計	302	2,448,000	105	598,000	14	48,000	115	242,000	23	32,000			8	12,000	567	3,380,000
合 計		409	4,109,700	249	7,257,600	27	123,400	130	317,400	33	75,500			11	20,000	859	11,903,600

イ. 主な公共土木施設の被害(被害額 1 億円以上)

	事業主体	区分	水系名	河 川 名	被 災 位 置	被災延長(m)	被災額(千円)	備 考
関 連 事 業	県	一級	太田川	滝 山 川	山県郡芸北町	L = 1,000	200,000	
	県	一級	太田川	馬 の 原 川	山県郡芸北町	L = 900	160,000	
	県	一級	太田川	大 暮 川	山県郡芸北町	L = 1,000	200,000	
	県	一級	太田川	才 乙 川	山県郡芸北町	L = 1,500	400,000	
	県	一級	太田川	板 ケ 谷 川	山県郡戸河内町	L = 1,500	400,000	
	県	一級	江の川	江 の 川	山県郡大朝町	L = 1,000	200,000	
	県	砂防	太田川	江河内谷川	山県郡加計町	L = 2,460	510,000	
	県	砂防	太田川	深 山 川	山県郡加計町	L = 2,000	320,000	
	県	砂防	太田川	峠 谷 川	山県郡加計町	L = 800	140,000	
	県	砂防	太田川	寺 領 川	山県郡戸河内町	L = 8,680	3,000,000	
	町	一級	太田川	内 ケ 畠 川	山県郡加計町	L = 500	110,000	
	町	一級	太田川	千本谷川(上流)	山県郡加計町	L = 1,200	220,000	
	町	一級	太田川	西 谷 川	山県郡加計町	L = 1,000	240,000	
	町	一級	太田川	寺領川(上流)	山県郡加計町	L = 1,500	300,000	
	町	一級	太田川	柳 谷 川	山県郡戸河内町	L = 500	100,000	
一 定 災	町	一級	太田川	梅 の 木 川	山県郡戸河内町	L = 2,000	250,000	
	町	一級	太田川	中 尾 谷 川	山県郡加計町	L = 400	200,000	
	町	一級	太田川	上 木 坂 川	山県郡加計町	L = 300	150,000	
	町	一級	太田川	上鶴渡瀬川	山県郡加計町	L = 350	175,000	

江河内地区上流の砂防・治山ダム



土石流により壊れた治山ダム
激しい土石流によって、堰堤の右側が破壊されている。下流が工事中の砂防ダム。

(5) 土石流発生状況

今回の集中豪雨による土石流災害は、主なもので加計町江河内谷川、中尾谷川他7溪流、小規模なものを含めると十数溪流に達した。

これらは、雨域の通過した加計町、戸河内町、筒賀村等の一部に集中している。

又、この地域の地質は、黒粗粒雲母花崗岩を基盤岩としており、これが風化して出来たいわゆる「マサ土」

であり、溪床に推積していた土砂が、この度の降雨で途中の溪床、溪岸を洗掘しながら、樋状になって流下したものである。

流出土砂量は、多いもので加計町江河内谷川の約40,000立方メートル、小さいもので500立方メートルとなっている。

土石流の発生した主な溪流

河 川 名			所 在 地			流出土砂量 (㎡)
水系名	幹川名	溪流名	郡市	町村	字	
太田川	太田川	江河内谷川	山県郡	加計町	江河内	40,300
太田川	太田川	峠谷川	山県郡	加計町	峠	8,400
太田川	太田川	上鶴渡瀬	山県郡	加計町	上鶴渡瀬	11,100
太田川	太田川	上木坂川	山県郡	加計町	木坂	7,500
太田川	太田川	中尾谷川	山県郡	加計町	辻ノ河原	4,700
太田川	太田川	蛇の谷川	山県郡	筒賀町	田の尻	2,400
太田川	寺領川	上ヶ原川	山県郡	戸河内町	長原	500
太田川	板ヶ谷川	正子谷川	山県郡	戸河内町	板ヶ谷	1,300
太田川	板ヶ谷川	悪谷川	山県郡	戸河内町	板ヶ谷	5,500
太田川	水内川	滝谷川	佐伯郡	湯来町	乙出	1,600
						計 83,300

最大の土砂を生産した江河内谷川の場合、1平方キロメートル当りに換算すると70,000立方メートル程度の土砂が出たことになり、これは広島県の過去の調査実

績の最大54,000立方メートル（昭和35年沼隅郡内海町で発生）を大きく上廻るものである。

4. 過去の被災

古文書や絵図による加計町の土石流被災（加計町役場提供）



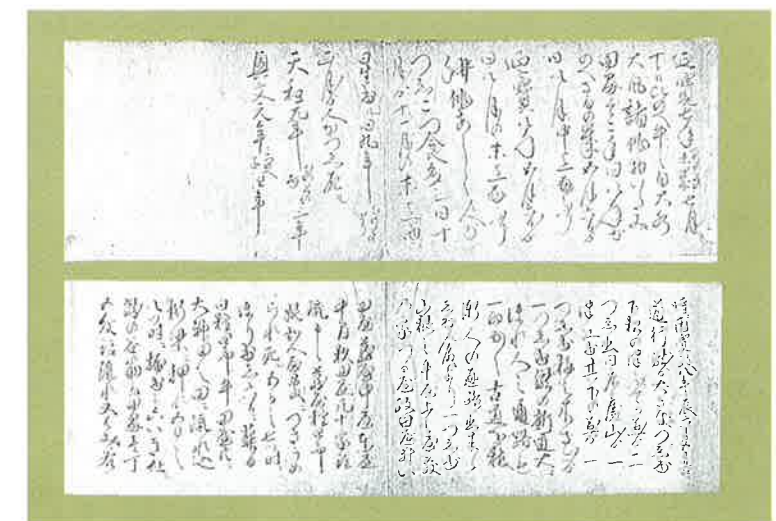
191年前、山崩れがあった場所を示す加計家所蔵の古絵図



被災地加計町江河内地区（航空写真）

加計町の旧家に保在されている古文書や古絵図などから、当江河内谷川は、寛政八年(1797年)にもかなり大規模な土石流災害があったことを裏付ける記録がある。

これによると「四間四方の岩が流されて座った江河内などはいまだ復旧していない」と記述されている。



土蔵から見つかった「栗栖家文書」の一部

5. 復旧状況

(1) 事前規制による通行規制及び解除等の状況

7月20日23時、大雨による事前規制(全面通行止)を
11路線11ヶ所(国道3路線3箇所、主要地方道1路線
1箇所、一般県道7路線7箇所)行ったが、道路バト
ロールにより安全を確認し、7月21日12時30分に全区
間規制解除した。

(2) 災害による通行規制及び解除等の状況

災害による通行規制(全面通行止)は12路線65箇所あったが、つぎの通り路線毎の交通開始を行った。

表-1 (全面交通止箇所) S63.8.31 現在

	路 線 名	交通止箇 所数(A)	開通箇所数 (B)		未開通箇所数 (A)-(B)	
			全面開通	片側通行		
一般 国 道	1 8 6 号	4	4	2	2	0
	1 9 1 号	19	19	10	9	0
	4 3 3 号	6	6	4	2	0
計	3 路 線	29	29	16	13	0
一 般 県 道	上筒賀筒賀停車場線	5	5	5	0	0
	中筒賀下線	11	11	11	0	0
	澄合豊平線	3	3	3	0	0
	波佐芸北線	1	1	1	0	0
	吉和戸河内線	2	2	2	0	0
	弁財天加計線	6	0	0	0	6
	下佐東線	2	2	2	0	0
	恐羅漢公園線	5	5	1	4	0
計	9 路 線	36	30	26	4	6
合 計	12 路 線	65	59	42	17	6

表-2 (交通開始時期)

月 日	時 間	路 線 名 等	摘 要
7月21日	12:00	今福戸河内線交通開始	
7月21日	15:00	433号交通開始	
7月21日	19:00	澄合豊平線、吉和戸河内線交通開始	
7月22日	15:00	下佐東線交通開始	
7月22日	19:00	186号交通開始	
7月23日	17:00	上筒賀筒賀停車場線交通開始	
7月25日	17:00	中筒賀下線、191号の落合橋以外交通開始	写真1、3
7月26日	17:00	波佐芸北線交通開始	
8月10日	0:00	191号・落合橋仮橋交通開始	写真2
8月11日	8:00	恐羅漢公園線交通開始	写真4

※なお、弁財天加計線については早期交通開始のため応急工事を実施中である。

① 国道191号 戸河内町遊谷(野為橋上)

7月25日17時交通開始



② 国道191号 戸河内町落合(落合橋)

8月10日0時交通開始



③ 国道191号 戸河内町川手(栗原宅下)

7月25日17時交通開始



④ 恐羅漢公園

戸河内町野為
8月11日8時
交通開始



被災要因

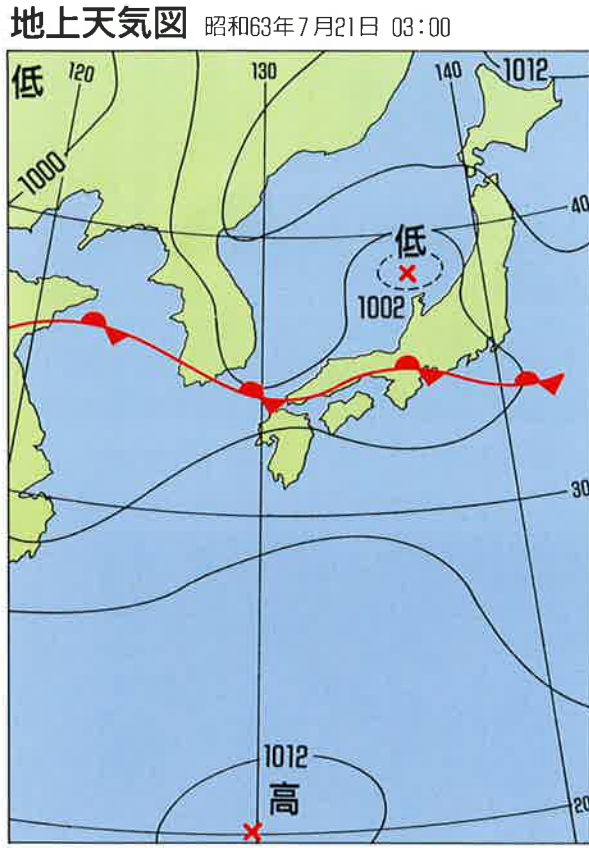
1. 気象記録

(1) 気象概況

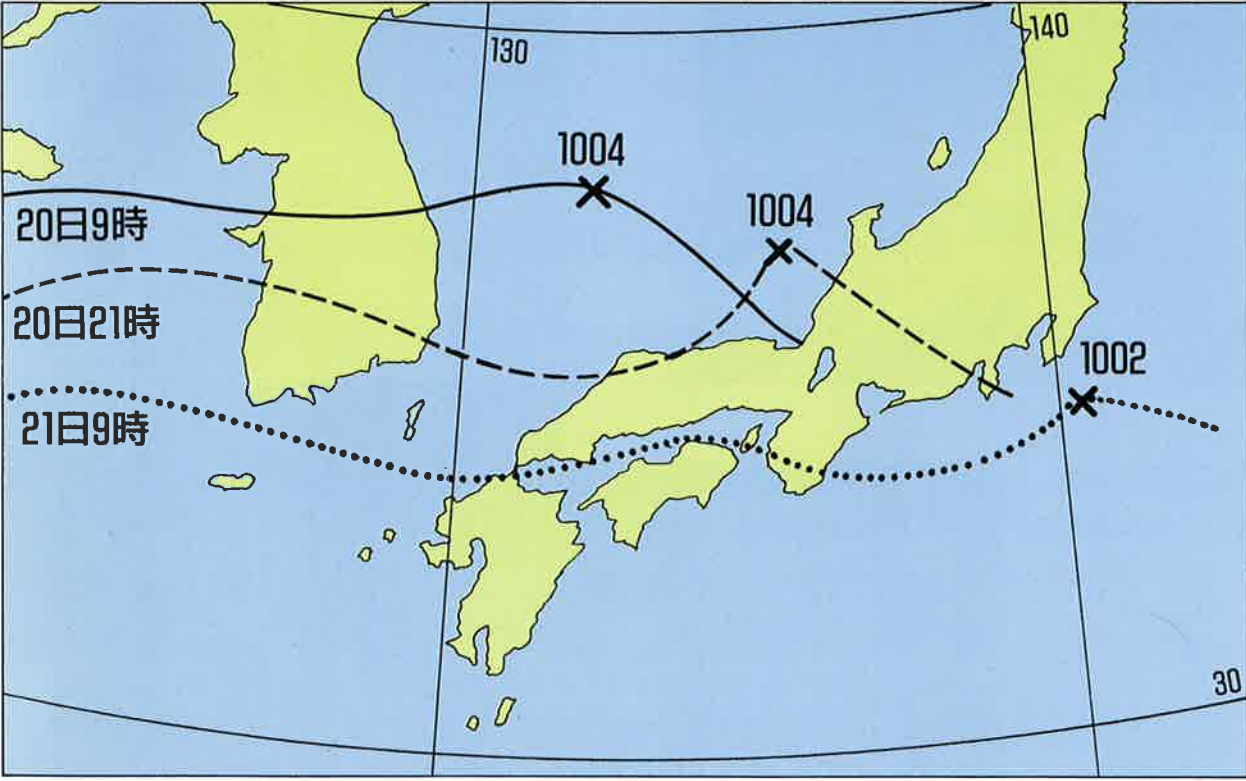
7月20日09時、低気圧が日本海南部をゆっくり東へ進み、この低気圧から朝鮮半島中部にかけて延びる前線は、オホーツク海高気圧の強まりに伴い、15時には山陰沖までゆっくり南下した。

前線沿いに暖かい湿った空気が入り前線活動が活発になったため、局地的に大雨の降りやすい状態になった。

前線はその後中国地方をゆっくり南下し、広島県北西部に大雨を降らせた後、21日09時には瀬戸内まで南下して雨は止んだ。



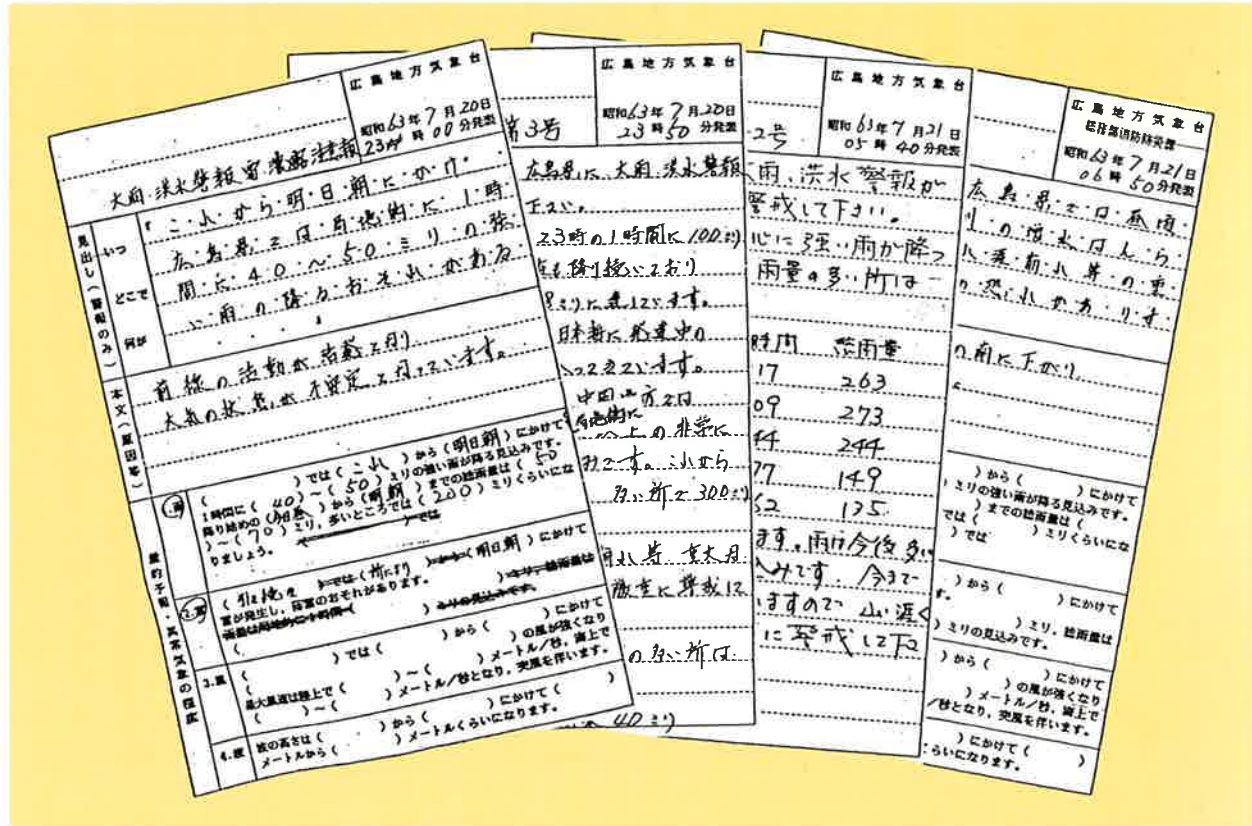
前線の位置 昭和63年7月20日 09:00～21日 09:00



(2) 情報、注・警報の発表状況

広島地方気象台発表

発 表 月 日 時 分	種 類	解除・切替	
		月 日	時 分
7・20 11:30	雷注意報	切 替	
7・20 13:30	大雨・洪水・雷注意報	切 替	
7・20 18:10	大雨・洪水・雷・濃霧注意報	切 替	
7・20 20:20	中国地方の大雨に関する情報 第1号	—	
7・20 22:30	中国地方の大雨に関する情報 第2号	—	
7・20 23:00	大雨・洪水警報、雷・濃霧注意報	切 替	
7・20 23:50	中国地方の大雨に関する情報 第3号	—	
7・21 00:20	広島県の大雨に関する情報 第1号	—	
7・21 03:15	広島県の記録的短時間大雨情報	—	
7・21 03:20	中国地方の大雨に関する情報 第4号	—	
7・21 04:15	広島県の記録的短時間大雨情報	—	
7・21 05:40	広島県の大雨に関する情報 第2号	—	
7・21 06:50	洪水警報、濃霧注意報	7・21	11:50
7・21 11:00	中国地方の大雨に関する情報 第5号	—	



広島気象台情報(ファックス原稿)

2. 降雨の状況

(1) 降雨の状況

20日昼ごろから降り出した雨は局地的に時間雨量20ミリ前後の強い雨となった所もあるが、全般には弱い雨が断続して降った。しかし、夜になって前線の活動が活発となり、夜半前から21日朝にかけて県北西部を中心に大雨が降った。

総雨量は内黒山276ミリ、加計270ミリ、八幡245ミリ

の大雨となり、特に内黒山では21日02～03時に56ミリ、加計では21日02～13時54ミリ、03～04時に55ミリの記録的短時間強雨となった。

雨は21日09時頃には止んだが、夕方から宵の内にかけて南部で局地的に時間雨量20ミリ近くの雨が降った所があった。

(2) 降雨の特徴

今回の豪雨は短時間集中型の降雨であり、7月21日01時～04時の3時間雨量及び7月20日22時～21日04時の6時間雨量は昭和30年以降最大のものであった。ま

た、広島県全域に甚大な被害をもたらした47年豪雨と比べても、総雨量こそ小さいものの短時間における降雨の集中度は非常に大きかった。

加計観測所3時間・6時間雨量順位

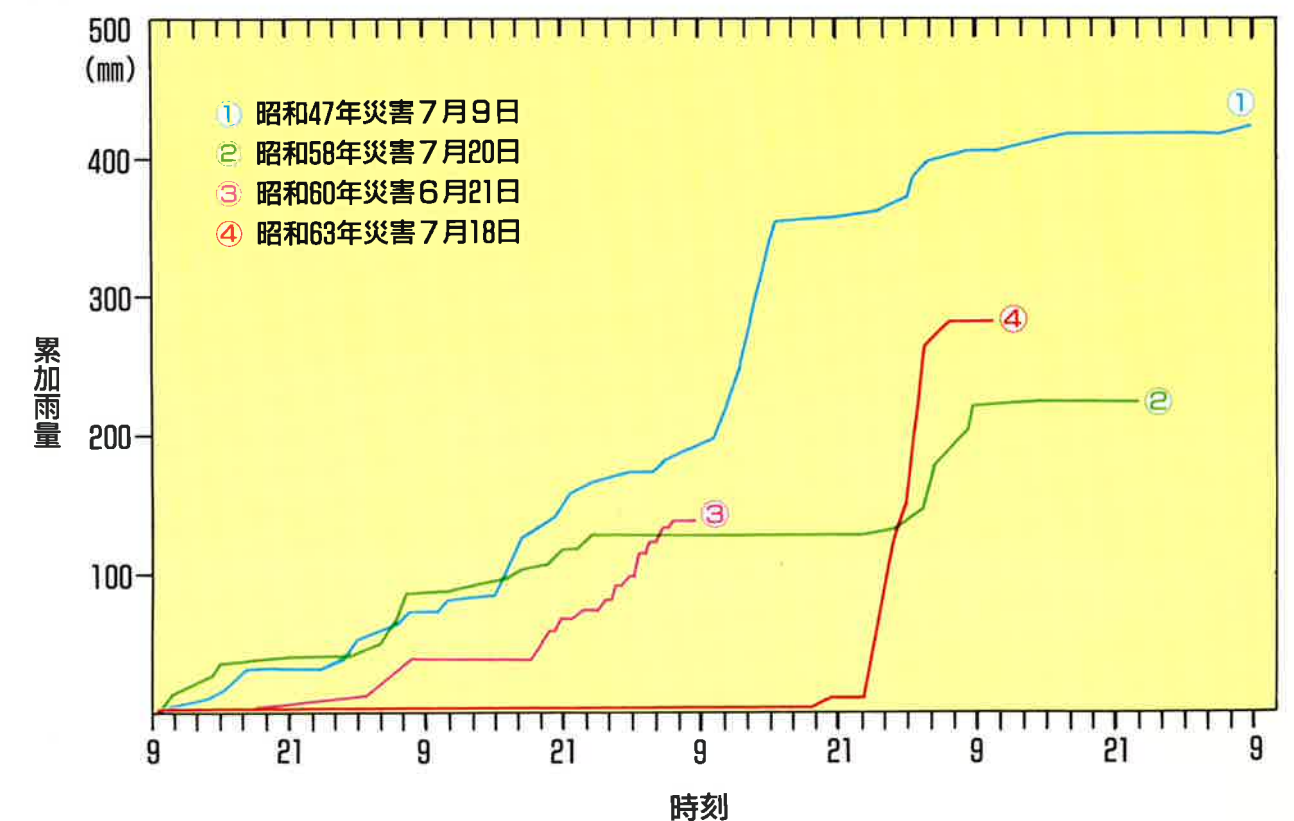
(建設省資料)

順位	加 計 観 測 所 雨 量 (単位: mm/h)			
	生 起 年 月 日	3時間雨量	生 起 年 月 日	6時間雨量
1	S63. 07. 21	155. 0	S63. 07. 20	246. 0
2	S53. 09. 15	117. 0	S47. 07. 11	157. 0
3	S58. 08. 25	109. 0	S53. 09. 15	137. 0
4	S47. 07. 11	100. 0	S40. 07. 22	131. 0
5	S56. 06. 27	95. 0	S45. 08. 14	127. 0
6	S40. 07. 22	90. 0	S31. 09. 07	122. 0
7	S30. 09. 30	81. 0	S30. 09. 30	117. 0
8	S51. 09. 13	81. 0	S58. 08. 24	116. 0
9	S45. 08. 14	80. 0	S49. 09. 08	112. 0
10	S52. 08. 08	79. 0	S43. 07. 28	109. 0
11	S31. 09. 17	73. 0	S51. 09. 13	106. 0
12	S57. 08. 27	73. 0	S56. 06. 27	101. 0

(3) 降雨分布図 (昭和63年7月20日～21日)



(4) 過去のおもな降雨との比較

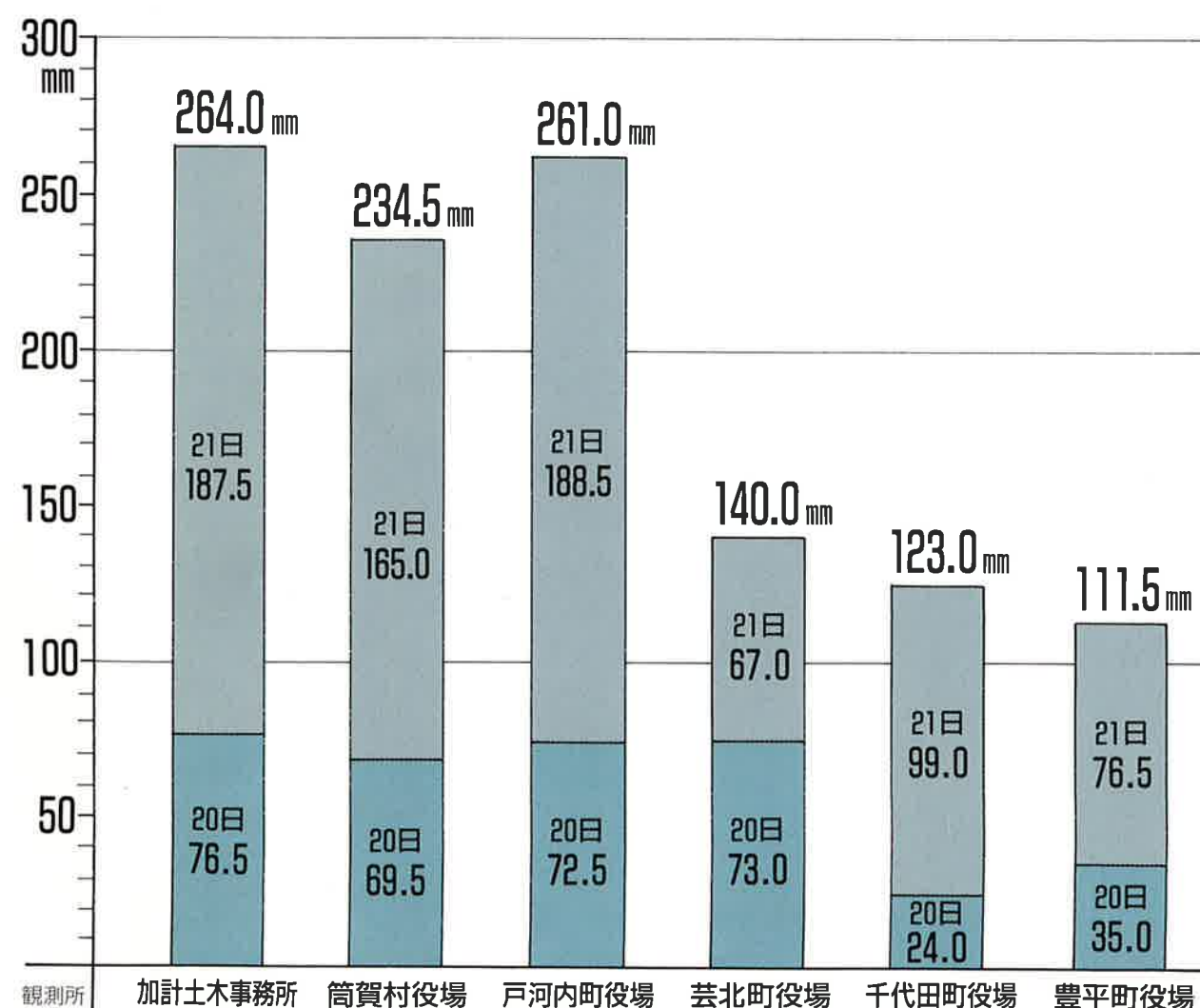


(5) 降雨量概況

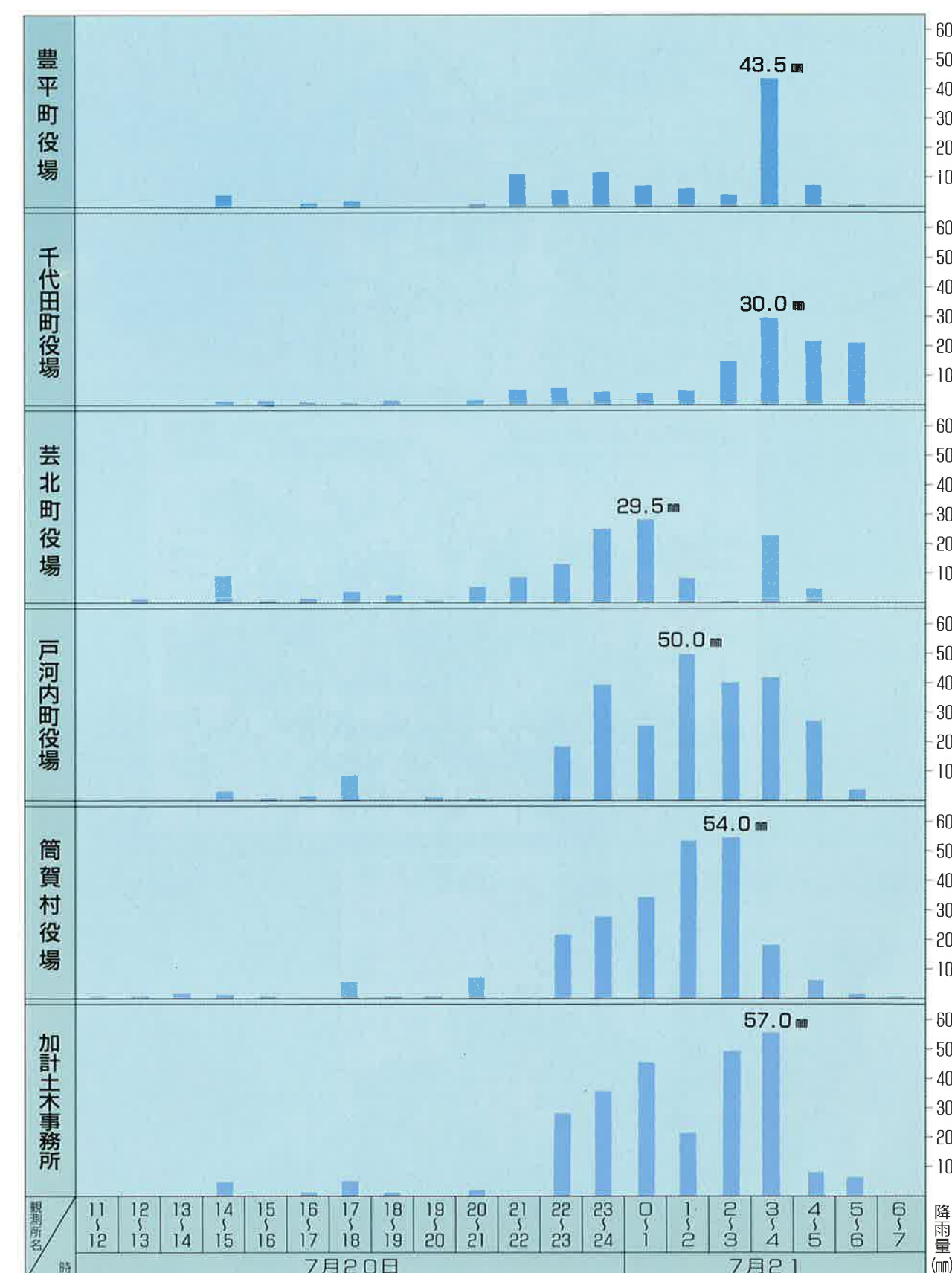
7月20日～7月21日の県下主要地点の雨量は次の通りです。

観測所	連続雨量		最大24時間雨量		最大時間雨量	
	雨量	日時	雨量	日時	雨量	日時
加計土木事務所	264.0	20日 21日 14時～ 6時	264.0	20日 21日 14時～14時	57.0	21日 21日 3時～ 4時
筒賀村役場	234.5	20日 21日 11時～ 8時	234.5	20日 21日 11時～11時	54.0	21日 21日 2時～ 3時
戸河内町役場	261.0	20日 21日 14時～ 6時	261.0	20日 21日 14時～14時	50.0	21日 21日 1時～ 2時
芸北町役場	140.0	20日 21日 12時～ 5時	140.0	20日 21日 12時～12時	29.5	21日 21日 0時～ 1時
千代田町役場	123.0	20日 21日 14時～ 6時	123.0	20日 21日 14時～14時	30.0	21日 21日 3時～ 4時
豊平町役場	111.5	20日 21日 14時～ 6時	111.5	20日 21日 14時～14時	43.5	21日 21日 3時～ 4時

連続雨量内訳

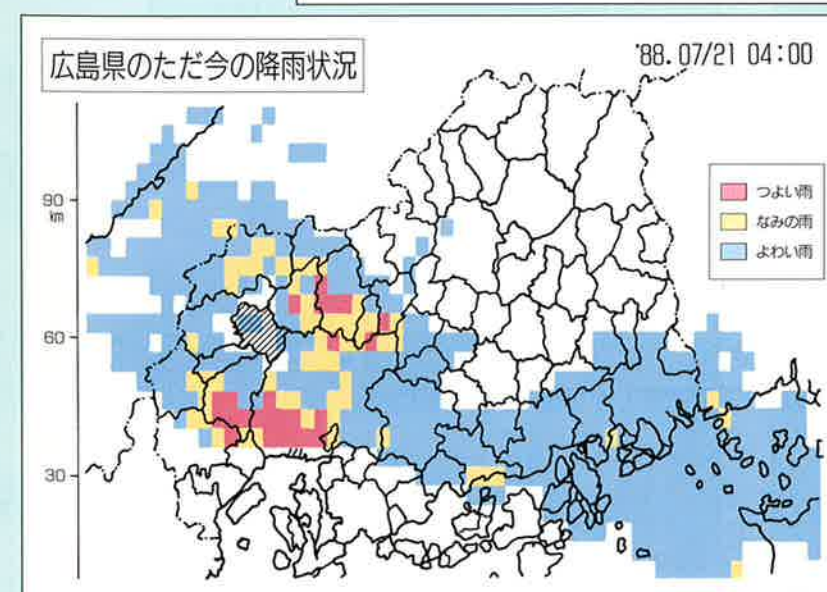
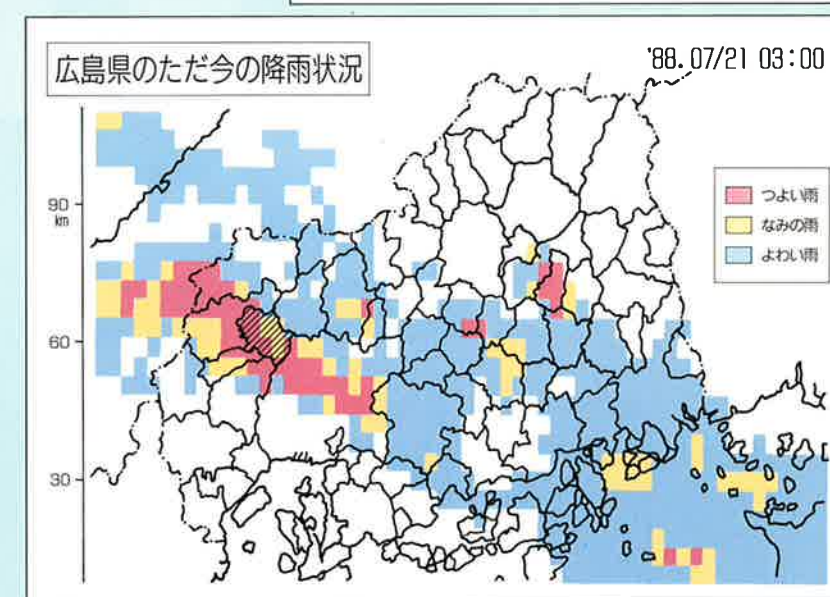
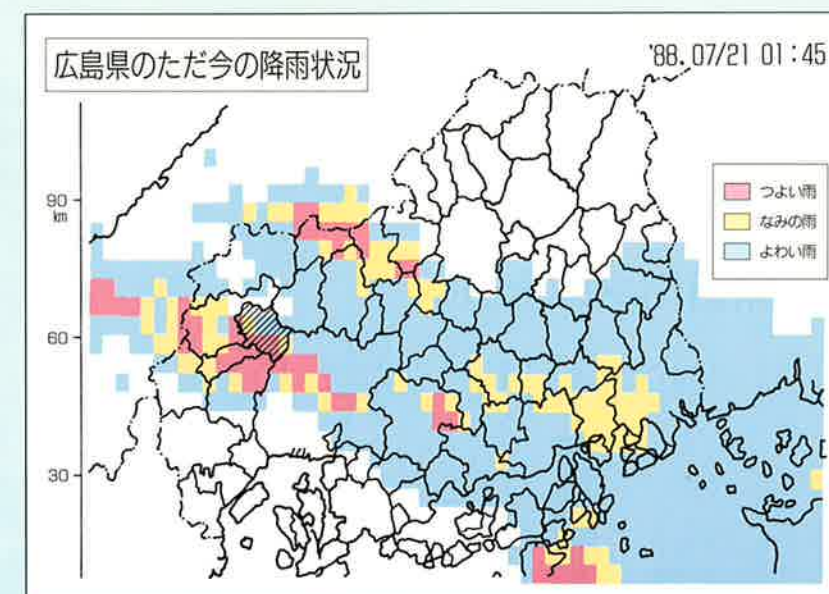
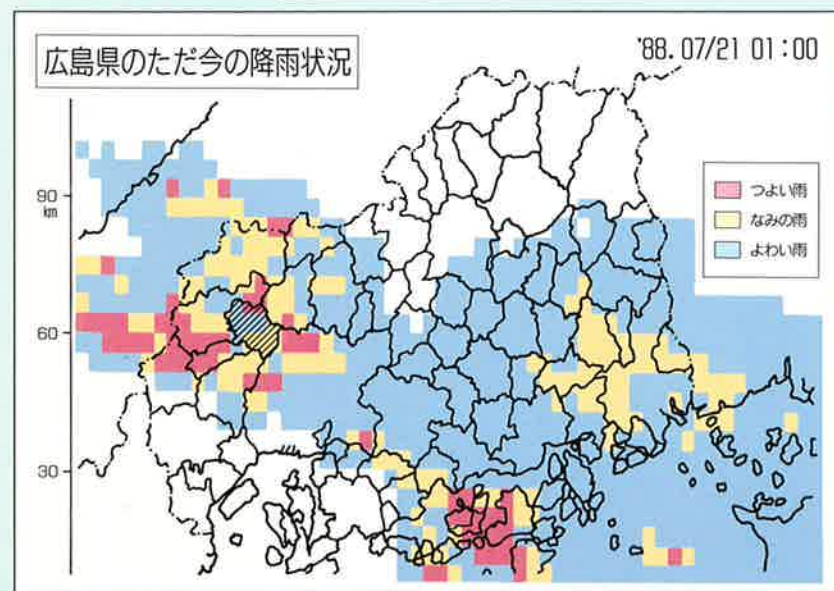
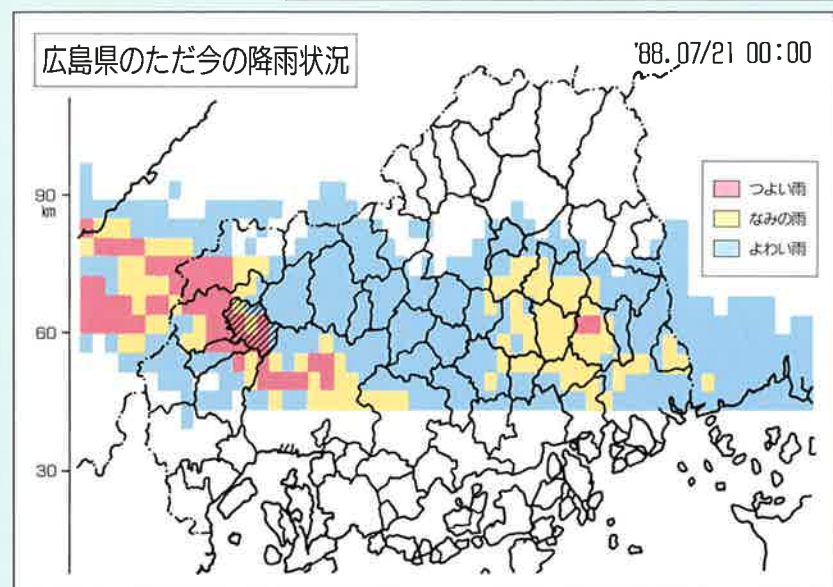
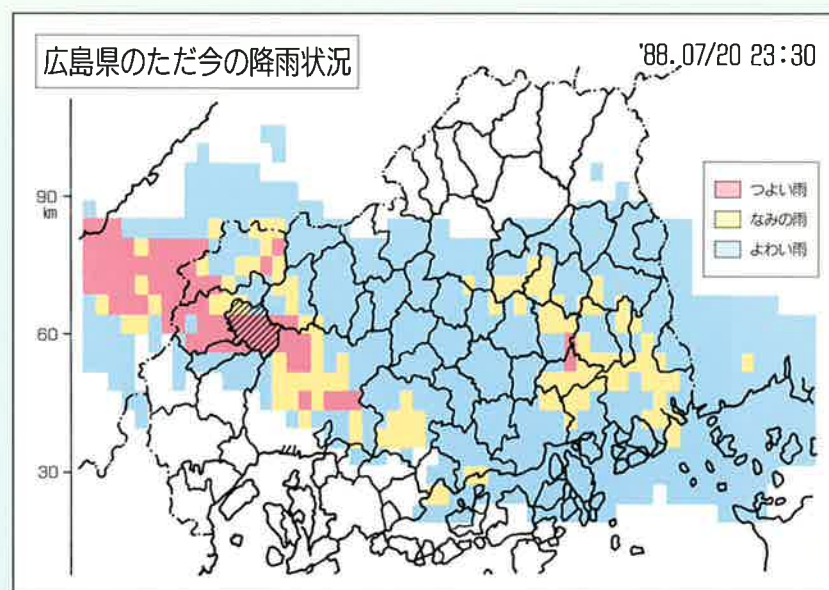


(6) 時間降雨量表



(7) 広島県の降雨状況

は加計町



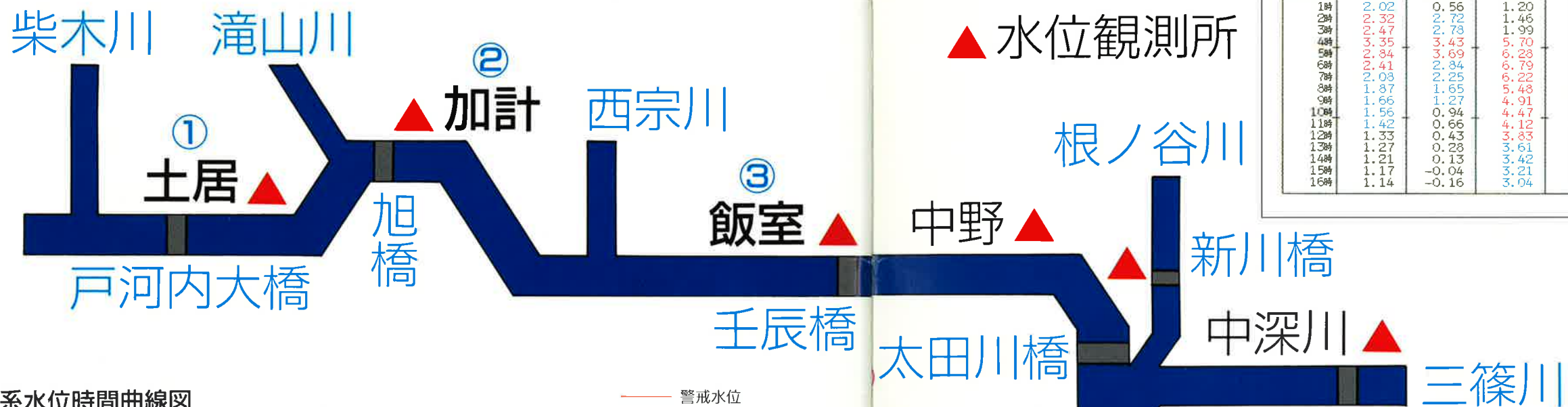
4. 出水の状況

(1) 出水状況

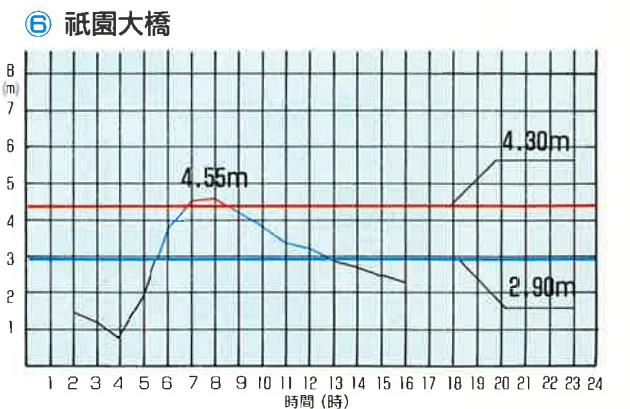
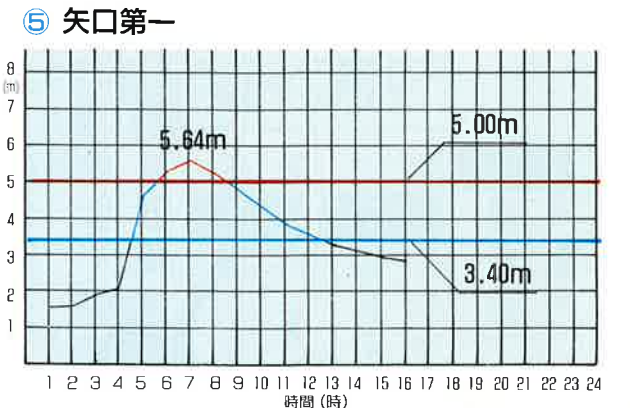
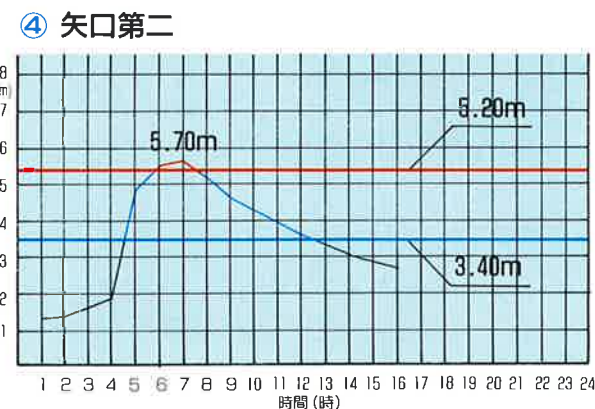
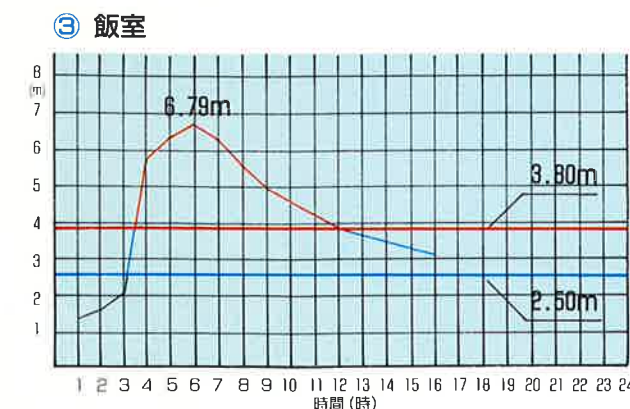
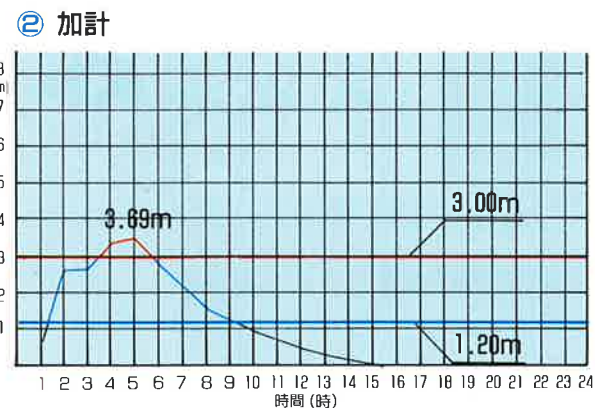
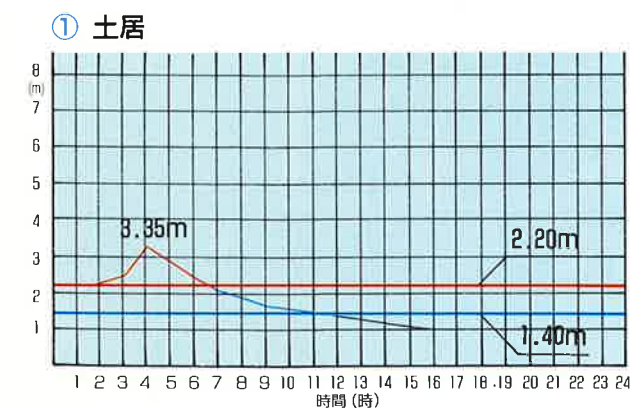
今回の豪雨により太田川の7水位観測点のうち6地点において警戒水位を突破した。また、集中的な出水により護岸の崩壊、巨石の流出が各地に発生した。

今回の出水状況の特徴としては太田川上流部の発電ダム群の貯水容量に余裕があったため、これらによる流出抑制の効果が見られた。

(2) 太田川水系水位



太田川水系水位時間曲線図



7月20日～21日豪雨の水位状況

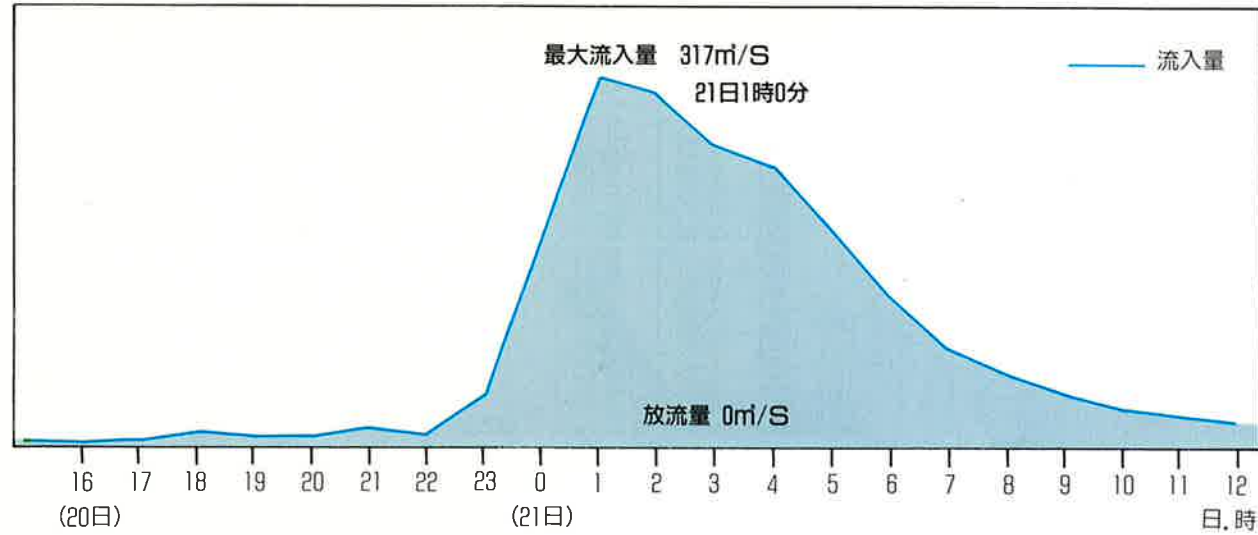
河川情報センター 700042231
太田川流域の毎時刻水位 88.07/20 17:00 ~ 07/21 16:00 (m)

時刻	太田川 土居	太田川 加計	太田川 飯室	太田川 中野	太田川 矢口第二	太田川 矢口第一	太田川 祇園大橋
20日 17時	0.42	-1.01	0.90	2.11	0.94	1.31	-0.06
18時	0.43	-0.99	0.87	2.11	0.94	1.31	-0.38
19時	0.43	-0.97	0.85	2.12	0.91	1.29	-0.54
20時	0.43	-0.96	0.85	2.11	0.89	1.27	-0.55
21時	0.43	-0.94	0.84	2.10	0.93	1.27	-0.28
22時	0.43	-0.94	0.83	2.09	0.92	1.30	0.16
23時	0.45	-0.82	0.82	2.11	0.95	1.30	0.57
21日 0時	0.59	-0.45	0.91	2.16	1.04	1.43	0.99
1時	2.02	0.56	1.20	2.22	1.19	1.53	1.42
2時	2.32	2.72	1.46	2.30	1.24	1.59	1.45
3時	2.57	2.78	1.99	2.55	1.58	1.88	1.12
4時	3.35	3.43	5.70	4.57	1.83	2.09	0.78
5時	3.54	3.69	6.23	4.59	4.90	4.59	1.91
6時	3.84	3.84	6.79	4.96	5.46	5.26	3.75
7時	4.41	4.25	6.22	5.01	5.70	5.64	4.45
8時	2.03	2.65	4.48	4.64	5.10	5.24	4.55
9時	1.87	1.27	4.91	4.35	4.53	4.69	4.17
10時	1.56	0.94	4.47	4.10	4.12	4.16	3.71
11時	1.42	0.66	4.12	3.90	3.77	3.75	3.32
12時	1.33	0.43	3.83	3.74	3.42	3.44	3.09
13時	1.27	0.28	3.61	3.61	3.14	3.21	2.83
14時	1.21	0.13	3.42	3.50	2.93	3.02	2.59
15時	1.17	-0.04	3.21	3.40	2.74	2.87	2.39
16時	1.14	-0.16	3.04	3.28	2.58	2.74	2.16

太田川上流のダム群にて洪水の軽減が見られた。

例) 樽床ダムにおいては今回の豪雨による雨を全て貯留した (740万 m^3)

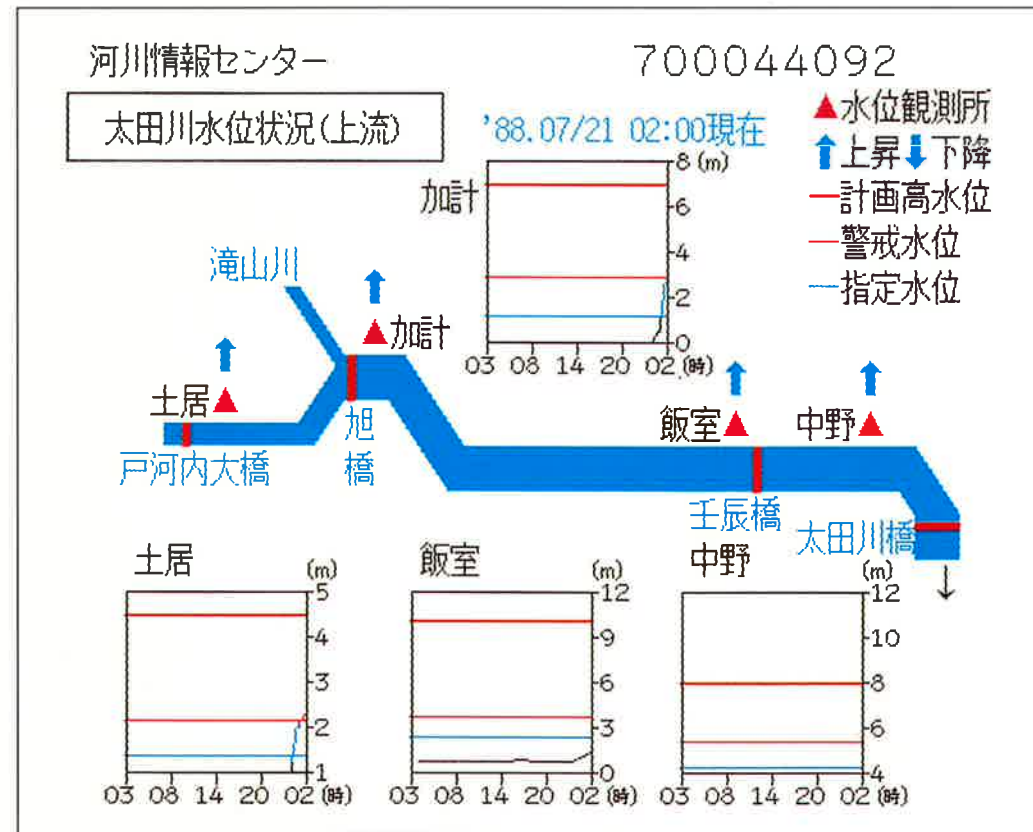
樽床ダム貯水実績表 (昭和63.7.20~7.21)



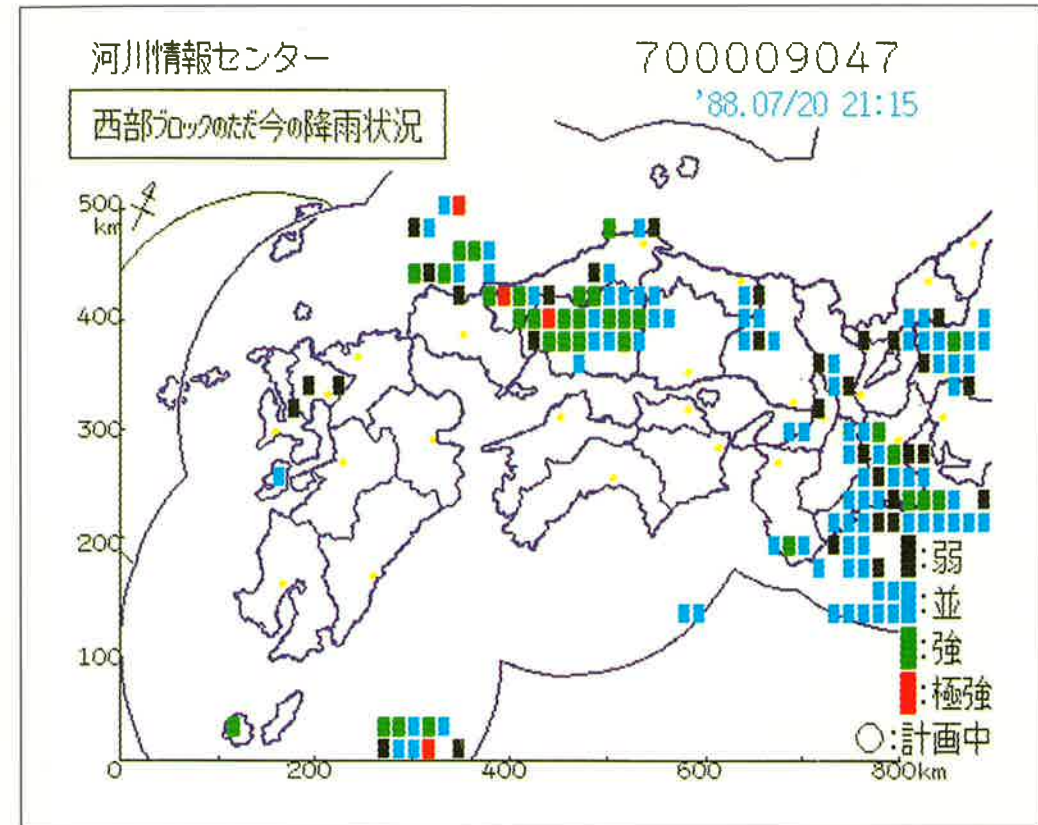
河川情報センターの情報

広島県では河川情報センター等より出水情報他各種の情報を収集し、災害の防止に活用している。

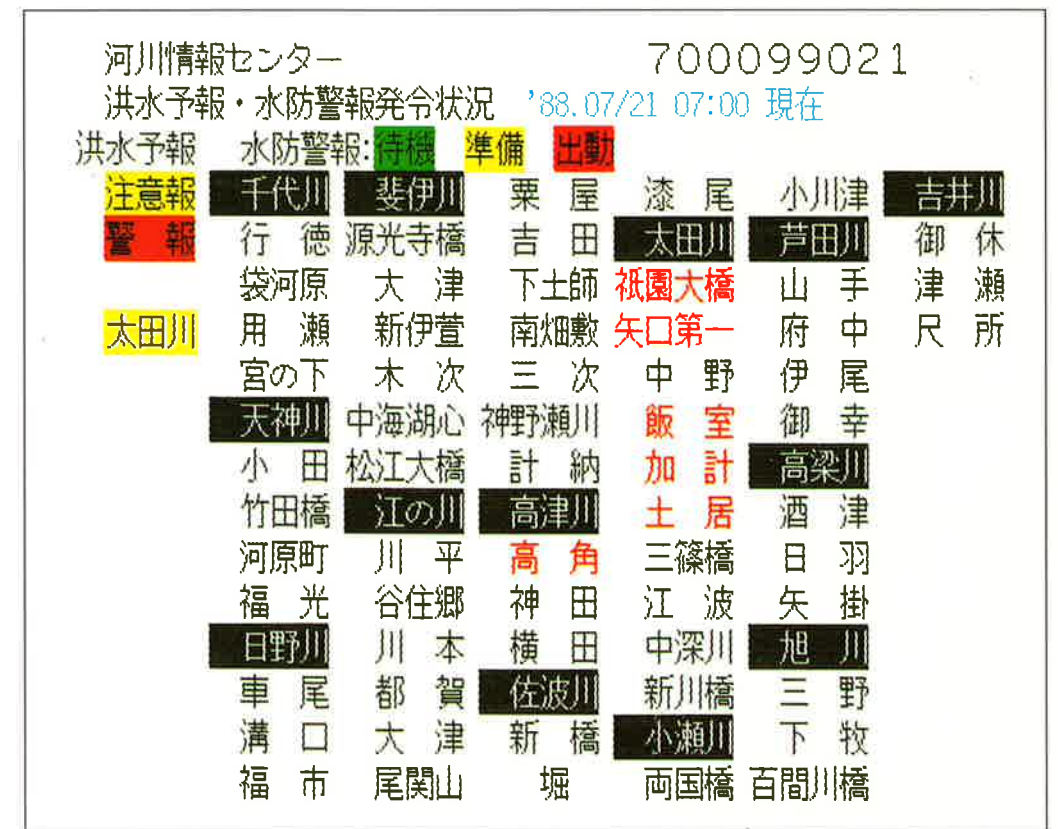
(1) 洪水時には、出水状況は逐次報告され、水防活動に役だてている。



(2) 広範囲の降雨状況の把握により、今後の降雨の予測を行い、水防活動等に活用している。



(3) 水防警報等の情報も広島県水防本部へ伝達される。





昭和63年10月発行(第2版)

昭和63年7月20日～21日

県北西部豪雨災害(速報版)

●
広島県土木建築部

技術管理課、道路維持課、河川課、砂防課

〒730 広島市中区基町10-52

TEL 082-228-2111

